

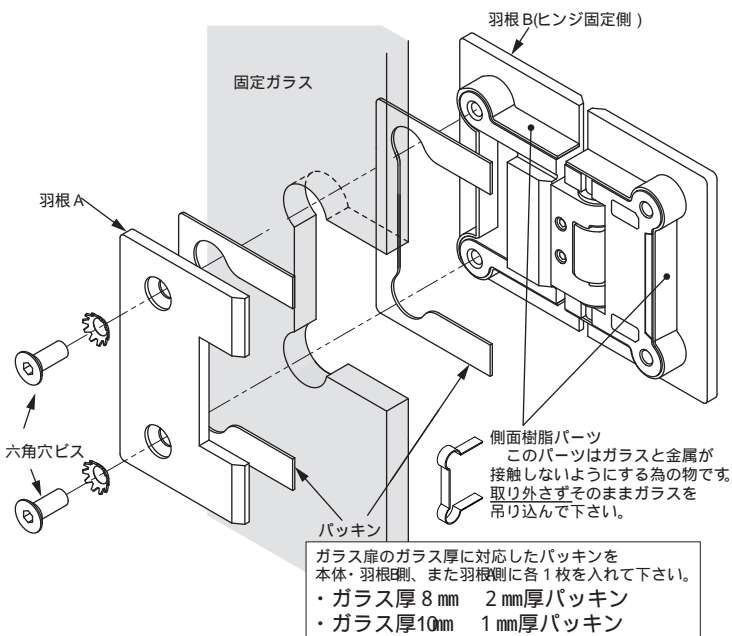


当社製品をお買い上げ頂きありがとうございました。
本製品を正しくお使いいただくために、この取付け説明書を詳しくご覧になってから取り付けて下さい。

取付け手順

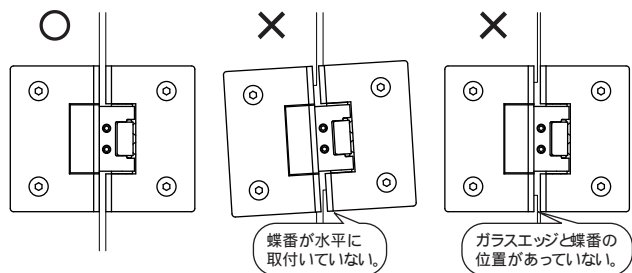
対応ガラス厚： 8mm/10mm

固定ガラスへの取り付け



ガラス扉のガラス厚に対応したパッキンを
本体・羽根B側、また羽根側面に各1枚を入れて下さい。
・ガラス厚 8mm 2mm厚パッキン
・ガラス厚 10mm 1mm厚パッキン

1. 固定側の羽根 B にガラス扉厚 t= 8mm の場合 2mm 厚パッキンを 枚入れ
ガラス扉厚 t= 10mm の場合 1mm 厚パッキンを 枚入れる。
2. 羽根 A にガラス扉厚 t= 8mm の場合 2mm 厚パッキンを 枚入れ、
ガラス扉厚 t= 10mm の場合 1mm 厚パッキンを 枚入れ、位置をあわせる。
3. 六角穴ビスを付属の六角レンチ 伏 で強く締める。

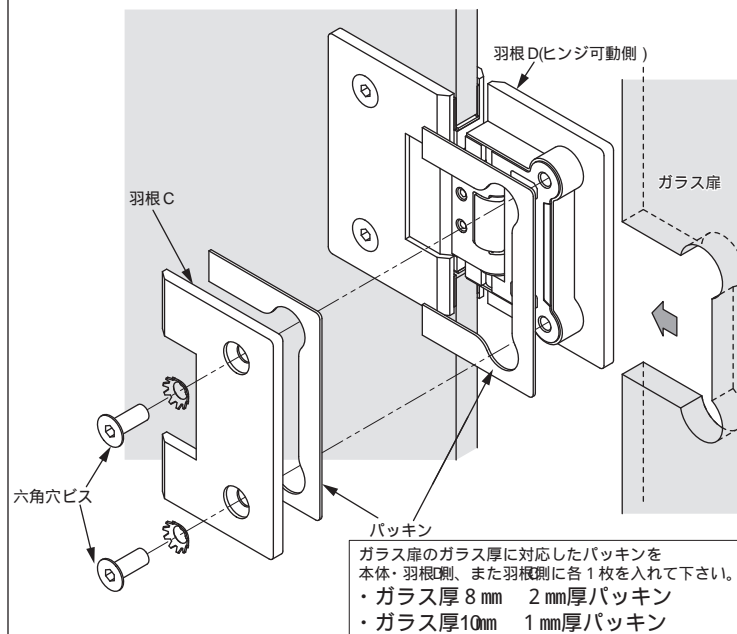


注) 上下のヒンジがまっすぐ水平に取り付いているか、またヒンジ側のチリが十分取れていることを確認の上、ヒンジ本体を固定ガラスに取り付ける。



注意：
固定側の羽根より 固定
ガラスエッジが出ないように
お取り付け下さい。

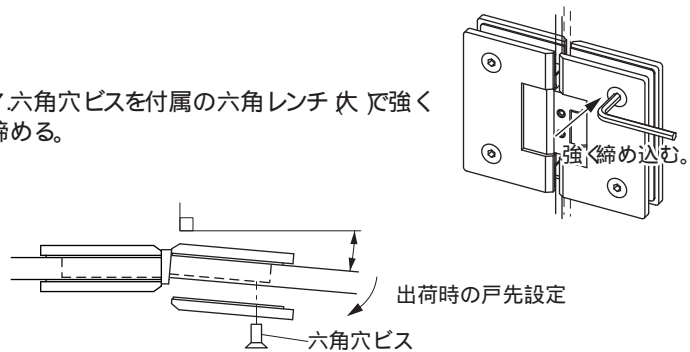
ガラス扉の取り付け



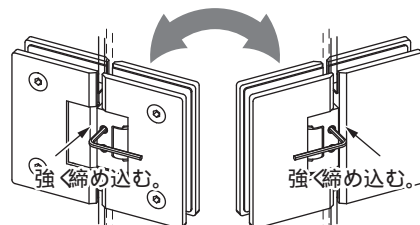
ガラス扉のガラス厚に対応したパッキンを
本体・羽根D側、また羽根側面に各1枚を入れて下さい。
・ガラス厚 8mm 2mm厚パッキン
・ガラス厚 10mm 1mm厚パッキン

4. 取付けたヒンジの羽根 D にガラス扉厚 t= 8mm の場合 2mm 厚パッキンを
枚入れガラス扉厚 t= 10mm の場合 1mm 厚パッキンを 枚入れる。
5. 羽根 D にガラスを吊り込む。
6. 羽根 C にガラス扉厚 t= 8mm の場合 2mm 厚パッキンを 枚入れ、
ガラス扉厚 t= 10mm の場合 1mm 厚パッキンを 枚入れ、位置をあわせる。

7. 六角穴ビスを付属の六角レンチ 伏 で強く
締める。



8. 出荷時、羽根は六角穴ビス側に傾いています。裏面の 戸先
の調整方法」で調整を行って下さい。



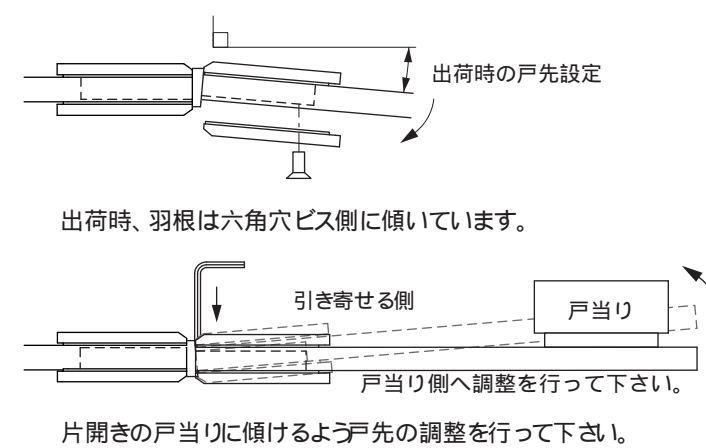
9. ヒンジ本体の前後の止めネジを六角レンチ 小 で全て締める。

注意 止めネジが緩んだ状態で扉を開閉すると激しい金属音が
鳴りますので、強く締め込んで下さい。

構造上、ガラス扉の開閉時に
多少の音が鳴りますが品質上問題はありません。ご了承下さい。

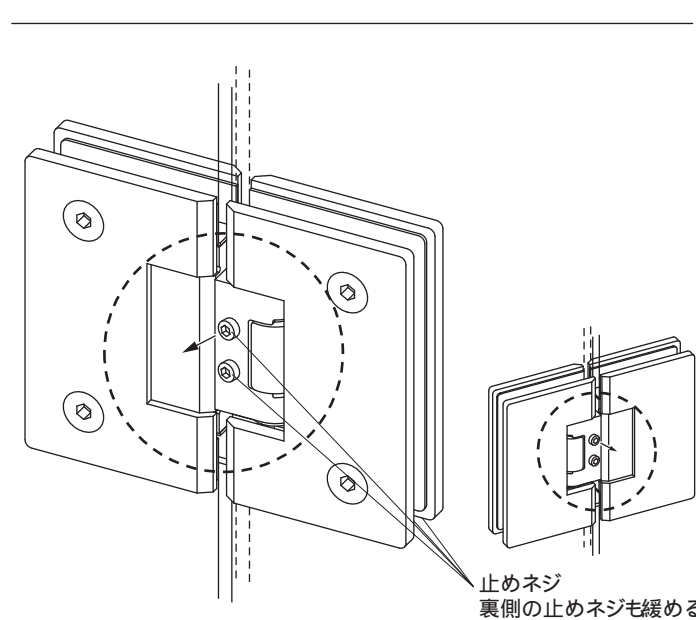
OT-B430-SUS 戸先調整方法

戸先の調整方法



出荷時、羽根は六角穴ビス側に傾いています。

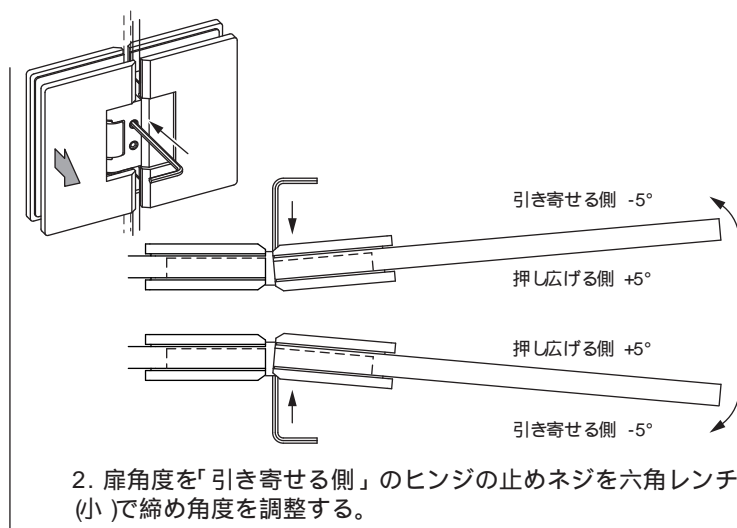
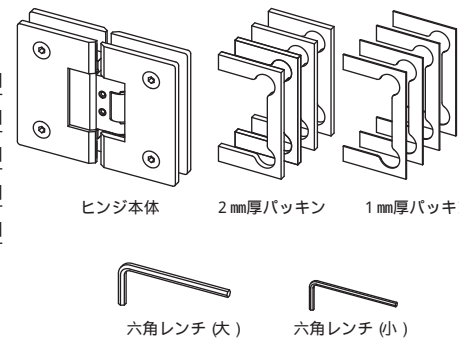
片開きの戸当りに傾けるよう戸先の調整を行って下さい。



1. ヒンジ両面の止めネジを、六角レンチ 小 で緩める。

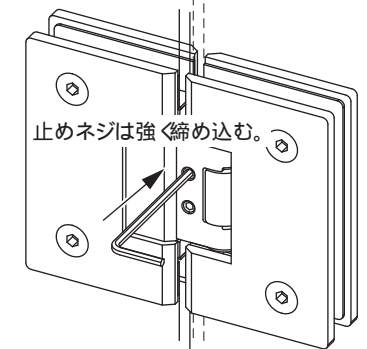
付属部品表

ヒンジ本体	1口
2mm厚パッキン	4口
1mm厚パッキン	4口
六角レンチ 伏	1口
六角レンチ 小	1口

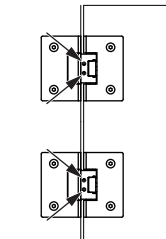


2. 扉角度を「引き寄せる側」のヒンジの止めネジを六角レンチ
(小) で締め角度を調整する。

片側に最大で約 5度の調整が出来ます。



3. 2. で調整した止めネジの反対側の「押し広げる側」のヒンジ
の止めネジを六角レンチ (小) で締め固定する。



注意 止めネジが緩んだ状態で扉を開閉すると激しい金属音が
鳴りますので、強く締め込んで下さい。

注意 止めネジが緩んだ状態で扉を開閉すると激しい金属音が
鳴りますので、強く締め込んで下さい。

取付け時の注意事項

不要な改造・分解は故障の原因になりますので止めて下さい。
ガラス扉以外に使用しないで下さい。
十分強度のある枠・壁に取り付けて下さい。
上下のヒンジが垂直になるように取り付けして下さい。
ガラス面には必ずパッキンを入れて下さい。
取付は2人以上で行って下さい。
ネジを強く締め込んで下さい。
ガラス扉の吊本側のチリ (隙間) に注意して下さい。
空調などの影響で戸先に隙間ができる可能性があります。ご了承下さい。
改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。予めご了承下さい。